

令和4年7月29日

関係団体 各位

厚生労働省長野労働局
労働基準部健康安全課

熱中症予防対策及びWBGT指数計の適切な使用等に資する
リーフレット等の送付について

安全衛生行政の推進につきましては、平素より格段の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、「職場における熱中症予防に用いる機器の適正な使用法等周知事業」の受託先から下記のリーフレット等が送付されましたので、貴機関における熱中症予防対策の周知等にご活用いただきたくお送りいたします。

十分な部数ではありませんが、ご活用いただきたくお願い申し上げます。

記

職場における熱中症予防対策ポータルサイト及び講習動画のご案内 1部

熱中症予防対策の徹底を 8部

WBGT値を把握して熱中症を予防しましょう！ 8部

STOP!熱中症クールワークキャンペーン 8部

職場における熱中症予防対策 ポータルサイト及び講習動画のご案内

ポータルサイトのご案内

厚生労働省では、職場における熱中症予防に関するポータルサイトを開設し、職場で起こる熱中症について、症状や分類、予防対策について、具体的な事例を交えて紹介しています。

場所を問わずアクセスして学べる、熱中症予防のためのオンライン教育用動画や理解度クイズなども掲載しています！

暑い夏を乗り切るにあたり、熱中症予防対策の徹底を図るために、是非ご活用ください！



学ぼう！ 備えよう！ 職場の仲間を守ろう！
職場における熱中症予防情報
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



講習動画のご案内

無料

職場における熱中症対策を効果的に推進するための講習動画を無料で配信しています！
1 動画あたりの閲覧所要時間が15分程度なので、すきま時間にもご覧いただけます。

- 熱中症が発生する原理と発生時の措置
- 熱中症予防対策として有効な対策（管理者向け）
- 熱中症予防対策として有効な対策（作業員向け）
- WBGT指数計を用いた作業環境管理方法について

WBGT値、確認ヨシ！



講師紹介

齊藤 宏之

独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

ポータルサイトではこんな内容が学べます！

Q1 熱中症防止の目的で使う測定器として、もっとも適当なものはどれでしょうか？

- a デジタル式の温湿度計
- b 黒球の付いたWBGT指数計
- c 黒球の付いていない温湿度計
- d 黒球の付いていないWBGT指数計

Q2 暑熱作業中の水分・塩分摂取の方法として、適当なものはどれでしょうか？

- a 水分・塩分を喉の渇きの有無によらず、定期的に摂取させる
- b 水分・塩分は作業中本人が喉の渇きに応じて摂取する
- c あまり水を飲むと体がなまってしまうので、飲む量や回数は最小限にする

Q3 軽度の熱中症が疑われる作業員がいたため、水分・塩分をとらせ、涼しい部屋で休ませましたが、なかなか良くなりません。
このような場合、適切な対応はどれでしょうか？

- a 躊躇なく医療機関に搬送する
- b 急がせず、日陰をゆっくり歩いて病院に行かせる
- c タクシーで自宅に帰らせる
- d 軽度の熱中症なので引き続き様子を見る

詳しい解説はポータルサイトに掲載しています！是非ご覧ください！

渴く前に飲む！



チューイカン吉

職場における熱中症予防対策ポータルサイト

職場 熱中症

検索

導入しやすい熱中症対策事例もぜひご覧ください▶



熱中症予防対策の徹底を

WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう
余裕を持った作業計画をたてましょう。

※環境省では、「熱中症予防サイト」においてWBGTの予測値・実測値の提供を行っています。

<https://www.wbgt.env.go.jp/>



WBGT基準値を超えるおそれのある場所において 作業を行う場合は、熱中症対策を徹底しましょう。





熱中症 予防対策 の例

- WBGT値を下げるための設備、休憩所の設置
- 通気性の良い服装の着用
- 作業時間の短縮
- 暑熱順化
- 水分・塩分の摂取、プレクーリング



<https://neccyusho.mhlw.go.jp/case/r3-index/>

身体作業強度などに応じたWBGT基準値

区分	身体作業強度(代謝率レベル)の例	WBGT基準値	
		暑熱順化者のWBGT基準値(°C)	暑熱非順化者のWBGT基準値(°C)
0 安静	安静、楽な座位	33	32
1 低代謝率	 軽い手作業;手及び腕の作業;腕及び脚の作業。 立位でドリル作業;フライス盤;コイル巻き;小さい電機子巻き;小さい力で駆動する機械;2.5 km/h以下での平たん(坦)な場所での歩き。	30	29
2 中程度代謝率	 継続的な手及び腕の作業[くぎ(釘)打ち、盛土];腕及び脚の作業;腕と胴体の作業;軽量の荷車及び手押し車を押したり引いたりする;2.5km/h~5.5 km/hでの平たんな場所での歩き;鍛造	28	26
3 高代謝率	 強度の腕及び胴体の作業;重量物の運搬;ショベル作業;ハンマー作業;のこぎり作業;硬い木へのかんな掛け又はのみ作業;草刈り;掘る;5.5km/h~7km/hでの平たんな場所での歩き。 重量物の荷車及び手押し車を押したり引いたりする;鋳物を削る;コンクリートブロックを積む。	26	23
4 極高代謝率	 最大速度の速さでのとても激しい活動;おの(斧)を振るう;激しくシャベルを使ったり掘ったりする;階段を昇る;平たんな場所では走る;7km/h以上で平たんな場所を歩く。	25	20



熱中症は室内でも要注意!

熱中症は、炎天下の屋外で発症しやすいと思われがちですが、部屋を閉め切って風通しが悪かったり、雨が降って湿度が高くなった場合など、高温多湿の条件が揃えば、室内でも熱中症になる可能性が高まりますので、十分に注意しましょう。



チューイ カン音

室内用のWBGT簡易推定図

相対湿度[%]

気温 [°C]	相対湿度 [%]																	WBGT値
	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	
40	28	29	30	31	32	32	34	34	35	36	36	37	38	38	39	39	40	危険 31°C以上
39	27	28	29	30	31	32	33	33	34	35	35	36	37	37	38	38	39	
38	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	35	36	36	37	37	38	嚴重警戒 28~31°C
37	26	27	28	29	29	30	31	32	32	33	34	34	35	35	36	36	37	
36	25	26	27	28	29	29	30	31	31	32	33	33	34	34	35	35	36	警戒 25~28°C
35	24	25	26	27	28	28	29	30	30	31	32	32	33	33	34	34	35	
34	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31	31	32	32	33	34	34	注意 25°C未満
33	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30	30	31	31	32	33	33	
32	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29	29	30	31	31	32	32	
31	21	22	23	24	24	25	26	26	27	27	28	29	29	30	30	31	31	
30	21	21	22	23	23	24	25	25	26	26	27	28	28	29	29	30	30	
29	20	21	21	22	23	23	24	24	25	26	26	27	27	28	28	29	29	
28	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	25	26	27	27	28	28	28	
27	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	27	27	
26	18	18	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	
25	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	
24	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	
23	15	16	16	17	18	18	19	19	20	20	20	21	21	22	22	23	23	
22	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20	20	21	21	22	22	
21	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	19	20	20	21	21	

(日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.4, 2022.5から)

※この図は「日射のない室内専用」です。屋外では使用できません。また、室内でも日射や発熱体のある場合は使用できません。

そのような環境では、黒球付きのWBGT測定器等を用いて評価してください。

※危険、嚴重警戒等の分類は、日常生活の上での基準であって、労働の場における熱中症予防の基準には当てはまらないことに注意してください。

- ▶ 暑さに慣れるまでの間は十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々にからだを慣らしましょう。
- ▶ のどが渇いてなくても定期的に水分・塩分を取りましょう。
- ▶ 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送しましょう。
- ▶ 高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているので注意が必要です。

STOP! 熱中症

令和4年5月～9月

クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約**20人**が亡くなり、約**600人**が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!




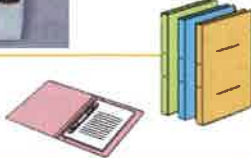





労働災害防止キャラクター **チロイ カン吉**

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、にチェックを入れましょう!

準備期間（4月1日～4月30日）		
<input type="checkbox"/>	WBGT値の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合した WBGT指数計 を準備しましょう。 
<input type="checkbox"/>	作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう 余裕を持った作業計画 をたてましょう。 
<input type="checkbox"/>	設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、 WBGT値を下げる方法 を検討しましょう。 また、作業場所の近くに 冷房 を備えた休憩場所や 日陰 などの涼しい休憩場所を確保しましょう。 
<input type="checkbox"/>	服装などの検討	通気性の良い作業着 を準備しておきましょう。 身体を冷却する機能をもつ服 の着用も検討しましょう。 
<input type="checkbox"/>	教育研修の実施	熱中症の防止対策について、 教育 を行いましょ。 迷わず救急車を呼びましょ! 
<input type="checkbox"/>	労働衛生管理体制の確立	衛生管理者 などを中心に、事業場としての 管理体制 を整え、必要なら 熱中症予防管理者の選任 も行いましょ。 
<input type="checkbox"/>	発症時・緊急時の措置の確認と周知	体調不良時の休憩場所や状態の把握、悪化時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょ。 

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1

□ WBGT値の把握






JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP 2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

<input type="checkbox"/> WBGT値を下げるための設備、休憩場所の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。	
<input type="checkbox"/> 通気性の良い服装等		
<input type="checkbox"/> 作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。	
<input type="checkbox"/> 暑熱順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り 、 1週間程度かけて徐々に身体を慣ら しましょう。特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です！	
<input type="checkbox"/> 水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。	
<input type="checkbox"/> プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。	
<input type="checkbox"/> 健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
<input type="checkbox"/> 日常の健康管理など	前日はお酒の飲みすぎず、よく休みましょう。また、当日は朝食をしっかりと取るようにしましょう。熱中症の具体的症状について理解し、熱中症に早く気付くことができるようにしましょう。	
<input type="checkbox"/> 作業中の作業者の健康状態の確認	管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。特に、入職直後や夏季休暇明けの作業員に気を配りましょう。	

STEP 3

熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

<input type="checkbox"/> WBGT値の 低減対策 は実施されているか
<input type="checkbox"/> WBGT値に応じた 作業計画 となっているか
<input type="checkbox"/> 各作業者の 体調 や 暑熱順化の状況 に問題はないか
<input type="checkbox"/> 各作業者は 水分 や 塩分 をきちんと取っているか
<input type="checkbox"/> 作業の 中止 や 中断 をさせなくてよいか



□ 異常時の措置

～少しでも異常を感じたら～

- ・ いったん作業を離れ、休憩する
- ・ 病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・ 病院へ運ぶまでは一人きりにしない

重点取組期間（7月1日～7月31日）

- 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- 休憩中の状態の変化にも注意し、少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送しましょう。

